

ちば産学官連携プラットフォーム加盟大学 2025 年 3 月卒業生の就職後の希望居住地などのアンケート結果について

集計・分析：教育活動連携事業部会

1. 調査目的

千葉市内の高等教育の課題を明らかにするために、共同 I R（学生調査等）を実施する。調査結果に基づき、ちば産学官連携プラットフォーム参画校が共同し、連携しながら、千葉市内の高等教育の課題を解決することを目指す。
ちば産学官連携プラットフォーム事業計画書（2025 年度）「教育の魅力」の向上（取組 2）

具体的には、当プラットフォームに参画する通学制大学（7 大学 4 短期大学）への入学・就職の地域別動向や学生の卒業後の希望居住地等を確認することにより、人口流動の問題を検討する材料とする。

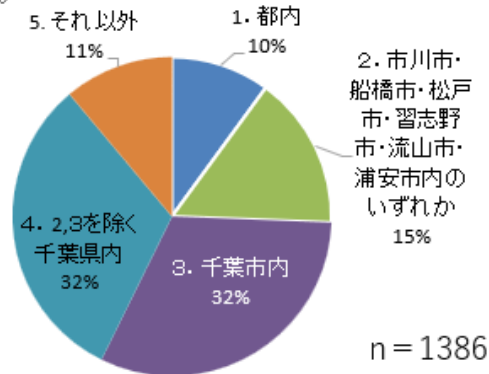
2. 調査結果の詳細

調査概要

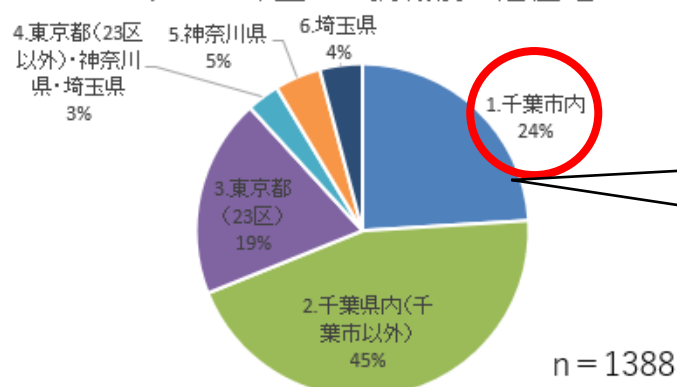
	ちば産学官連携プラットフォーム加盟大学 2025 年 3 月卒業生調査
実施期間	2025 年 1 月～3 月
対象	4 年生（短大は 2 年生）
参加大学・短期大学	7 大学 4 短期大学 植草学園大学, 神田外語大学, 敬愛大学, 淑徳大学, 千葉経済大学, 帝京平成大学, 東京情報大学, 植草学園短期大学, 敬愛短期大学, 千葉経済大学短期大学部, 千葉明德短期大学
回答件数	1396

2) アンケート結果

Q10 お住まい

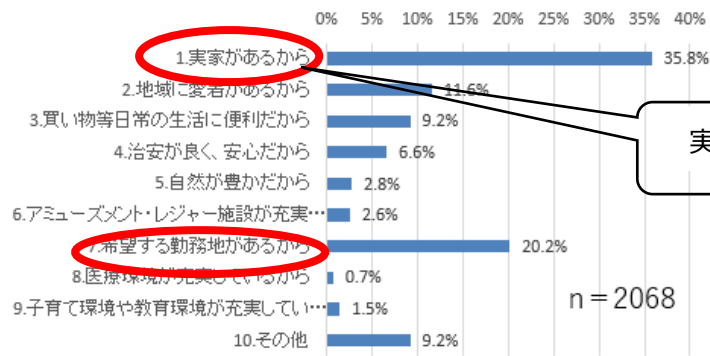


Q11-1 希望する就職後の居住地

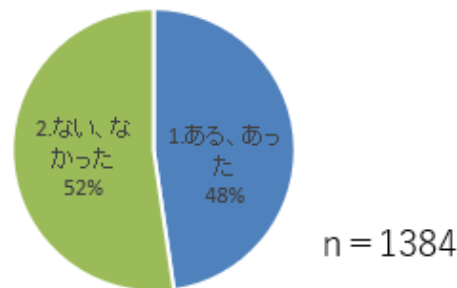


千葉市内への就職希望が 24%、千葉県内との合計は 69%

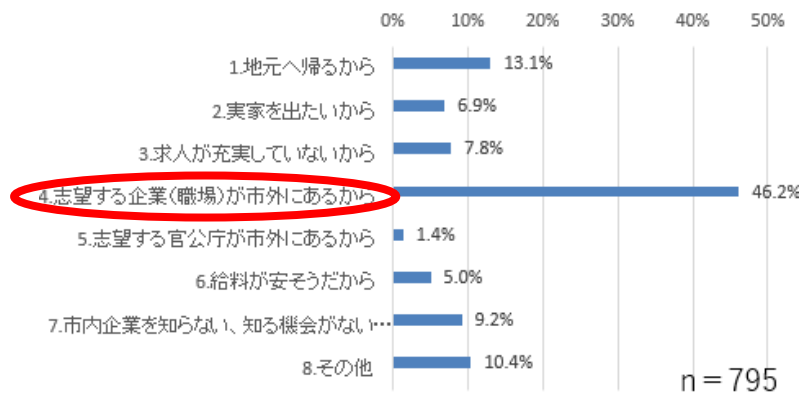
Q11-2 選んだ理由(最大3つ)



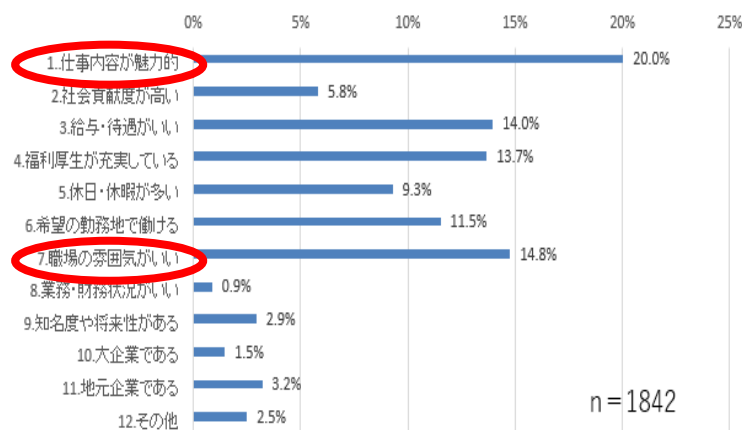
Q12-1 就職先候補に千葉市内の企業は
ある、もしくはあった



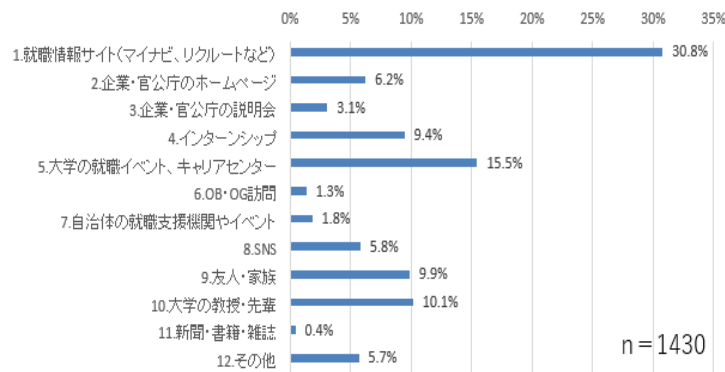
Q12-2 (ない、なかったを選んだ方)理由(最大3つ)



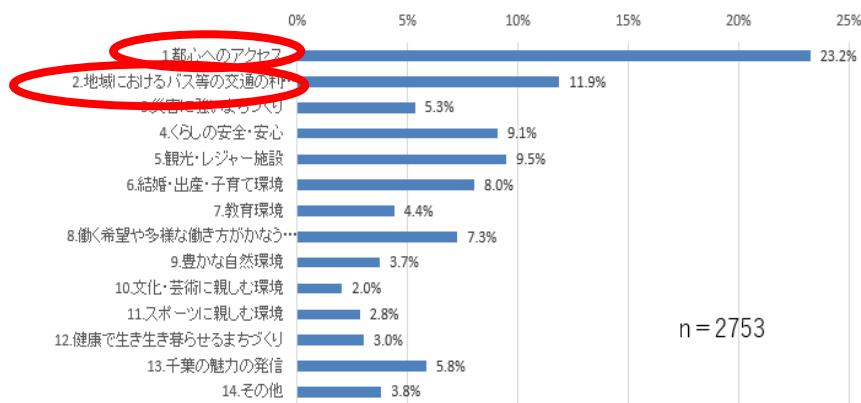
Q13 就職先を選ぶ際に重視すること(最大3つ)



Q14 就職先を選心際の情報収集として参考にするもの(最大3つ)



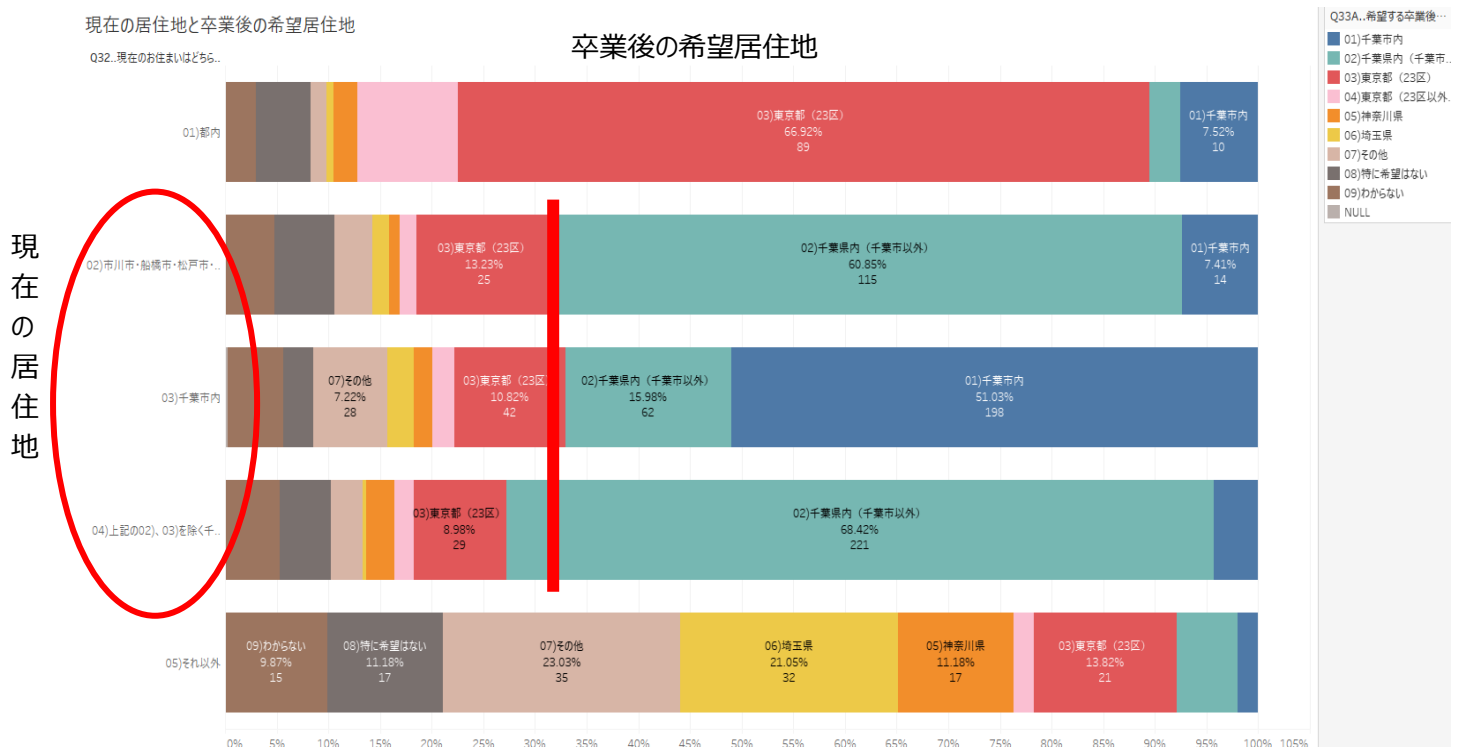
Q15 千葉市が居住地として選ばれるために改善が必要だと思うこと(最大3つ)



2) プラットフォーム調査のクロス集計

プラットフォーム加盟大学で、1) プラットフォームのグーグルフォームで調査に参加した大学、及び2) 独自フォームによる調査を行ったが、ローデータをご提供いただいた大学のデータにより集計 (6 大学 4 単位大学、n=1210)

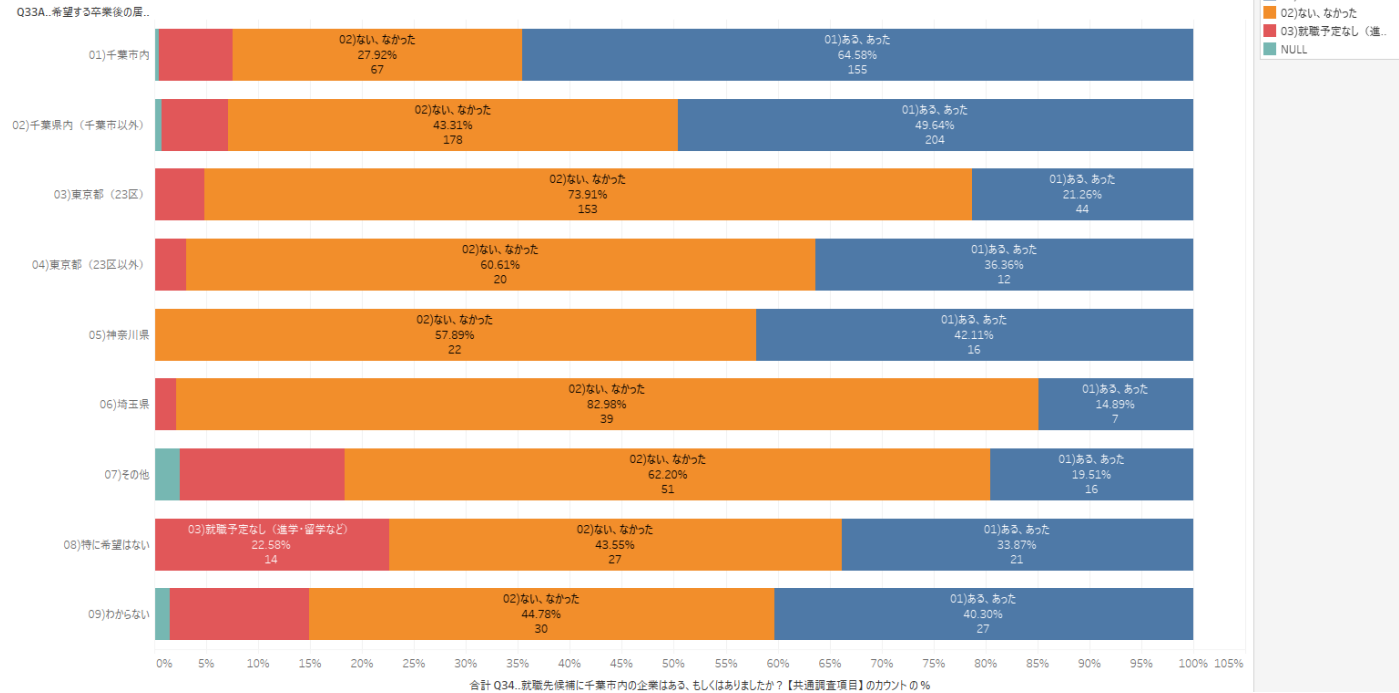
千葉県内に居住する学生の 7 割は卒業後も千葉県内への居住を希望している。



	Q34..就職先候補に千葉市内の企業はある、もしくはありましたか？ 【共通調査項目】			
Q33A.希望する卒業後の居住地を1つだけ選んで下さい。【共通調査項目】	01)ある、あった	02)ない、なかった	03)就職予定なし (進学・留学など)	NULL
01)千葉市内	155	67	17	1
02)千葉県内（千葉市以外）	204	178	26	3
03)東京都（23区）	44	153	10	
04)東京都（23区以外）	12	20	1	
05)神奈川県	16	22		
06)埼玉県	7	39	1	
07)その他	16	51	13	2
08)特に希望はない	21	27	14	
09)わからない	27	30	9	1
NULL		3		5

千葉市に卒業後も居住する希望のある学生の 6 割は、千葉市に就職先候補があった。

卒業後の希望居住地と千葉市での就職先候補の有無 (2)



3. 論点

プラットフォームに参画する私立大学・短期大学の「卒業生の卒業後の千葉市への希望居住地」の割合は 24%であり、千葉県内希望の 45%と合わせると 6 9 %であり、約 7 割の学生が千葉県市内への居住を希望している。また、「就職先候補に千葉市内の企業がなかった」と回答した学生の理由は、「希望する企業が市外にあるから」という回答が一番多かった。希望する勤務地があることが卒業後の居住地選択に寄与していることから、いかに学生から選ばれる企業が千葉県市内にあるか、また千葉県市内の企業の情報が学生に届いているかどうかが重要になってくる。

以上